

様式第4号（第5関係）

活動結果報告書

平成30年2月28日

越前市議会

議長 前田 一博 殿

議員氏名 前田 修治 

下記のとおり報告します。

日 程 平成30年1月30日(火曜日)～平成 年 月 日(曜日)

活動先 12月定例議会報告書

活動目的 12月議会の議案、争点等についての報告

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

印刷業者 (有)ワープロセンターHOPE

支払金額 64,800円

印刷部数 9,000枚

別添のとおり

子ども医療費助成制度

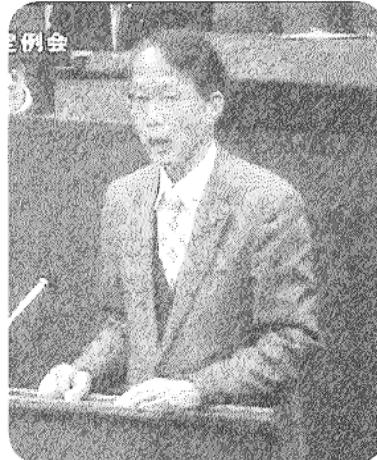
立て替え払いはなくなるが

一部負担金の廃止で完全無料化を

前田修治議員

窓口で医療費自己負担分を一旦立て替えてから後に戻されている福井県の子ども医療費助成も、来年度から立て替えなしの窓口無料化となり、大きな前進だが、越前市は通院費で一部負担金(?)に一月500円、入院費では一日500円の上限4,000円という一部負担金の支払いは今後も続けることになつていて。

完全無料化すると子どもを安易に受診させたり、休日夜間の受診が増え医療崩壊につながらないかという意見もあるようだが、窓口無料化を広げれば医療費がかさむというようなデータではなく、医療費の窓口無料化によって子どもの早期受診・診断が進んだことで重症化を防ぎ、むしろ医療費抑制効果が出ていることが自治体の調査で明らかになっている。



県内においても、新年度からの窓口

子ども医療費助成も、来年度から立て替えなしの窓口無料化となり、大きな前進だが、越前市は通院費で一部負担金(?)に一月500円、入院費では一日500円の上限4,000円という一部負担金の支払いは今後も続けることになつていて。

子ども医療費窓口の自己負担金にする自治体もあり、本市においても窓口での一部負担金をなくしての完全無料化の実施を求めるが、市長の見解はどうか。

奈良市長

子ども医療費窓口の自己負担金については、現行を維持していく方針である。全ての子どもが平等な医療サービスを受けることができるよう、全国一律の子ども医療費無料化制度の創設を国や県に要望している。

市総合戦略の成果と課題は

前田修治議員

越前市の人口減少に歯止めをかけるために進められてきている市総合戦略では「女性が輝くモノづくりのまちく子育て・教育環境日本一」をスローガンに掲げて、定住化の促進に取り組んでいるが、2年余りを経過したなかで特に成果として見えてきた施策や、問題点。今後の課題等について、現時点ではどのように分析しているのか。

奈良市長

市の人口は1月と比べて159人増えており、増加数は県内で1位となっている。市内企業とのさらなる連携化をはかり、住宅支援策の改善など重点化をはかり、より効果的な取り組みを進めしていく。

奈良市長

中心市街地の商業活性化策として、定住しやすい環境づくりに加え、給食定住化の理由として、子育て支援や教育の一環としてとらえる「食育」の推進をあげる自治体が増えている。給食は子どもの食のセーフティーネットの役割も果たしており、保護者の給食費負担を減らすことと子育てを支援し、教育を充実させることは重要な課題だと考える。文部科学省は保護者の

負担を軽減するために、市が学校給食費を予算に計上し、保護者に補助することを禁止していない。

越前市総合戦略のもとで、子育て・教育環境日本一を掲げる本市においては、多子世帯などの一部補助も含めて、今後ぜひ検討すべき課題だが市の見解はどうか。

中島教育長

学校給食法において、給食の実施に必要な施設、設備に要する経費、給食の運営に要する経費は公費で負担し、

食材に要する経費は保護者の負担とする」と、とされている。生活保護世帯、準要

別支援学級に在籍する児童・生徒の世帯には半額を助成しているが、全世帯への無償化は現在は考えていない。



政府に「核兵器禁止条約」への賛同と批准を求める意見書提出に関する請願

核兵器廃絶の願いを不採択に

核兵器禁止条約は、核兵器を法的に「禁止」し、「悪の烙印(らくいん)」を押すことによって、核兵器の廃絶にすすもうという、最も抜本的かつ現実的な道を示した歴史的条約です。日本政府は、「条約に参加すると『核抑止力』の正当性が損なわれる」、「北朝鮮の核開発という情勢にこの条約はそぐわない」として条約に不参加です。

先進的な高崎市の市長は、「街を活性化する。閉じているシャッターを開けさせて商店街を魅力的にする。この二つを実現するために考えたのが、この助成事業です。地方自治体の役割は、地元の中小業者を支援することです。」

と語っているが、越前市においても中心市街地の活性化は大きな課題となつていて。中小商店を元気づける、利用しやすい店舗リフォーム助成制度になっているのか。

越前市議会として、核兵器禁止条約に日本が参加するよう求める意見書を提出してほしいという請願は日本共産党議員団、市民ネットワークと一部の議員の賛成少数で不採択とされました。

公立小学校や中学校の給食費(食材費)の保護者負担を全額補助して無償にする市町村がこの間に少なくとも83に増えてきている。保護者が負担する給食費の平均月額は、小学校で約4300円、中学校で約4900円だが、無償化によって年間5万円程度の負担が軽減になる。

学校給食の無償化、83自治体に多子世帯への一部補助など検討すべきでは

前田修治議員

公立小学校や中学校の給食費(食材費)の保護者負担を全額補助して無償にする市町村がこの間に少なくとも83に増えてきている。保護者が負担する給食費の平均月額は、小学校で約4300円、中学校で約4900円だが、無償化によって年間5万円程度の負担が軽減になる。

利用しやすい店舗リフォーム助成を

前田修治議員

住宅リフォーム助成制度は全国の9割の自治体で実施されているが、住宅リフォーム助成制度を発展させて、店舗改装助成制度を実施している自治体

住宅リフォーム助成制度は全国の9割の自治体で実施されているが、住宅リフォーム助成制度を発展させて、店舗改装助成制度を実施している自治体



請願に賛成し起立する8名の議員